

富士市公共交通協議会

平成20年5月8日設置
平成21年2月2日連携計画策定



概要

富士市地域公共交通総合連携計画に基づき、公共交通空白地域である「丘地区」「原田・吉永地区」「吉原・駅北(津田・藤間)地区」及び路線バスの実質的な空白地域となっている「大淵地区」において、乗合タクシー・デマンドタクシー等、新たなコミュニティ交通を導入することで「地域の足」を確保するものです。合わせて乗継割引券の開発及び路線マップ・時刻表の作成や自主運行バス車両へのラッピングを実施し、安全・安心で質の高い運送サービスの提供を図るものです。

○ 丘地区乗合タクシー(実証)運行 【計画事業】

実証運行2年目を迎え、初年度(H21)の事業評価を踏まえた見直し改善に伴うWSを始めとする、改善運行及びPR活動を実施します。

● 大淵地区デマンドタクシー(実証)運行 【計画事業】

丘地区同様、初年度(H21)の事業評価を踏まえた見直し改善に伴うWSや意見交換会を実施し、より効率の良い運行を図ります。

○ 吉原・駅北地区乗合タクシー(実証)運行 【計画事業】

需要調査(アンケート・ワークショップなど)を実施し、住民のニーズに合った効率的なルート設定、ダイヤを考察し、利便性の高い公共交通サービスを確保します。

● 吉永・原田地区デマンドタクシー(実証)運行 【計画事業】

需要調査(アンケートなど)を始めとする地元の要望を把握した上で、既存バス路線を活かした、利便性の高い公共交通サービスを確保します。

○ 公共交通利用促進に資する事業 【計画事業】

乗継割引券や1日乗り放題券の開発や路線マップ・時刻表の作成。車両のラッピング等、乗継ぎ利便性の向上や利用環境の改善を図ります。

